

大阪大学アドミッション・ポリシー

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、高等学校等における学修を通して、確かな基礎学力及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。このような学生を適正に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。

2021年度入学者選抜からの各学部アドミッション・ポリシー

○ 文学部

【求める人材像】

文学部は、古今東西の思想、言語、歴史、文学、芸術の分析的かつ総合的な探求を通じて対象を本質的に理解し、そこで得られた知見をもって現代社会の諸問題の解決に積極的に取り組む人材の育成を目的としています。そのため、本学部では、大阪大学のアドミッション・ポリシーをもとに、次のような資質を備えた学生を求めています。

- (1) 高等学校等で履修する主要教科の基本的な知識。
- (2) 日本語および外国語の文章を正確に読解する能力。
- (3) 論理的に思考し、自分の考えを口頭および文章で明晰に表現する能力。
- (4) 人文学についての基本的な理解と学問探究への強い意欲。

【入学者選抜の基本方針】

本学部の入学試験では、上記の学生を多様な評価基準によって選抜するために、一般選抜、総合型選抜、私費外国人留学生特別入試を実施します。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜では、(1)、(2) を重視し、大学入学共通テストで国語、地理歴史、公民、理科、数学、外国語を、個別学力検査では地理歴史または数学、外国語、国語を、それぞれ課します。(3)のうち、論理的思考力および文章表現力については、個別学力検査で評価します。

総合型選抜では、(3)、(4) を重視し、志望理由書や活動実績報告等の書類の提出を求め、小論文、面接を課します。(1)、(2) については、大学入学共通テストで評価します。

また、私費外国人留学生特別入試を実施し、高い日本語能力と学問探究への意欲をもつ外国人留学生を選抜します。

○ 人間科学部

【求める人材像】

人間科学部は、大阪大学の教育目標のもと、従来の文系・理系の枠にとらわれず、つねに新たな学際的領域に視野を広げながら、「人間と人間の営む社会を科学的に考察し、人間とは何かを見つめ、人間という存在を理解し、人間らしく生きていける社会を作り出すことに貢献できる有能な人材を育成することを目的」としています。人間と社会の全体像をさまざまな側面から理解するための取り組みの中では、自然科学・社会科学・人文科学などのさまざまな手法を縦横に用います。したがって、文科系・理科系のどちらか一方の学問に偏らず高等学校等でのあらゆる普通教育科目や専門教育科目を学修し、

特定の学問領域にとらわれない好奇心旺盛な態度やさまざまなフィールドで実践的活動に参加する行動力を持ち、さらにグローバルな諸課題にも積極的に関与しようとする意欲や能力を備えている学生を強く求めています。

【入学者選抜の基本方針】

人間科学部が掲げる理念である学際性・国際性・実践性を涵養する学びや活動を育成する教育プログラムを学修するために、入学者選抜にあたっては、文理融合的な学びや研究の基礎となるバランスの取れた5教科の学力、さまざまな専門分野の知識や複雑な議論を含む長文の読解力や文章分析力、自分の考えを他者に適切に伝えるための表現力、国際的なコミュニケーションの基盤となる外国語能力、さらに、自ら課題を発見し、その解決のために専門分野以外のさまざまな専門分野の他者と協働するための意欲を重視し、以下の方法により選抜します。また、グローバルで多様性のある学習環境の実現に向けて私費外国人留学生特別入試や学部英語コース特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

（一般選抜）

大学入学共通テストでは、国語、数学、地理歴史・公民、理科、外国語の5教科の受験が必要です。大学入学共通テストでは、5教科のバランスの取れた基礎学力を評価します。個別学力検査では、国語、数学、外国語を課します。個別学力検査での国語によって、長文の読解力や表現力を評価します。数学では、統計学や情報処理の学修に必要な数学の基礎学力と数学的思考力に基づいた論理的思考力を評価します。外国語では、英語の基本学力や読解力とともに、英語による表現力を評価します。

（総合型選抜）

志望理由及び高等学校在学期間に相当する期間に行った特筆すべき活動内容について調査書、志望理由書、活動実績報告書などから第一次選考（書類選考）として評価し、第一次選考合格者には、小論文と面接を課すことで、表現力、課題探究力（実践力）、協調性と学習意欲などを評価します。そして、一般選抜と同様の大学入学共通テストの試験科目を課すことにより基礎学力を評価し、多面的で総合的な選抜を行います。

（3年次編入）

大学・短大・高専での多様な学問領域を一定程度学修し、それらの成果を発揮しつつ、本学部が求める人間や社会への学際的・国際的な洞察や実践的活動を可能とするような学生を選抜します。

○ 外国語学部

【求める人材像】

外国語学部は、大阪大学の教育目標のもと、世界の諸地域の言語に関する教育を出発点とし、言語を基底として営まれる文化や社会について、理論と実際にわたって教授することを通じて、国際社会の様々な場面で通用する高度な言語運用能力と世界に関する幅広い知識を有し、異文化理解力をとおして人類と世界に貢献することのできる人材を養成することを目的としています。

この目的に沿って、外国語学部は、世界諸地域の言語、文化、社会に対する強い関心を持つ、次のような学生を募集します。

- (1) さまざまな文化背景を持つ人とコミュニケーションする能力を身につけたい人。
- (2) 世界諸地域の言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい人。
- (3) 言語を十二分に駆使して、世界諸地域の文化や社会の研究をしたい人。
- (4) 異文化間の対話と相互理解を深める架け橋になりたい人。
- (5) 世界的規模の諸問題を解決するため、国際的な活動や協力を推進したい人。

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れるため、一般選抜と総合型選抜の入試を行います。これに加えて、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試、3年次編入学試験を実施し、グローバルで多様な学生を求めます。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査をとおして、国語、社会（地理歴史、公民）、理科、数学、外国語に関する知識と理解度を判定します。
2. 総合型選抜では、高等学校の調査書もしくは国際バカロレア資格証書・成績証明書、TOEFL等の検定試験の成績証明書、志望理由書や高等学校の長が作成する志願者評価書、志願者の多様な資質を証明する書類（高い語学力を証明する書や高等学校等での自由研究や課題研究の実績を証明する書類、海外研修や留学の事実を証明する書類）、さらに、小論文、口頭試問、大学入試共通テストをとおして、多角的、総合的に合否判定を行います。
3. 帰国生徒特別入試では、外国語と国語（小論文を含む）の筆記試験と口頭試問を実施し、外国語学部における学修に必要な外国語能力と論理的思考を身につけているかを判定します。
4. 外国人留学生特別入試では、日本留学試験とTOEFLの成績（一部の専攻を除く。）、英語と日本語の筆記試験および口頭試問をとおして、外国語学部における学修に必要な日本語能力と論理的思考を身につけているかを判定します。
5. 3年次編入試験では、筆記試験（志願する専攻言語）と口述試験をとおして、3年次編入に相応しい学力を有しているかを判断します。

注：上記の入試における英語の試験ではリスニングテストを行います（総合型選抜、私費外国人留学生特別入試の一部を除く）

○ 法学部

【求める人材像】

法学部では、大阪大学のアドミッション・ポリシーのもと、法学部の教育目標に定める人材を育成するため、基礎学力・理解力・論理的思考力・表現力・構想力を有した人材を求めています。

- (1) 基礎学力：高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語についての基本的な知識があり、基本的な問題の解決に利用することができる。
- (2) 理解力：物事を深く、多面的に理解することができる。
- (3) 論理的思考力：論理的に思考することができる。
- (4) 表現力：論理的な思考の過程を自分の言葉で表現することができる。
- (5) 構想力：問題を発見し、その解決策を構想することができる。

【入学者選抜の基本方針】

法学部は、上記のような人材を受け入れるため、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と総合型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜では、大学入学共通テストの成績で基礎学力・理解力・論理的思考力を備えているかを、2次試験の成績で基礎学力・理解力・論理的思考力・表現力・構想力を備えているかを、それぞれ判定し、これらの成績をあわせて評価します。

総合型選抜では、共通テストの成績で基礎学力・理解力・論理的思考力を備えているかを、面接試験の成績で理解力・論理的思考力・表現力・構想力を備えているかを、書類審査の成績で論理的思考力・表現力・構想力を備えているかを、それぞれ判定し、これらの成績をあわせて評価します。

留学生については私費外国人留学生特別入試を行い、同様の目的から、筆記試験（小論文）と面接試験を実施します。

法学科の3年次編入試験では、同様の目的から、筆記試験（英語・小論文）と書類審査を実施します。

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーを受け、経済学部は、経済学および経営学に関する知識を忍耐強く習得し、自分の適性を発見して社会の多様な道に進み、それぞれの分野において将来大きな成果をあげてくれる人材を求めます。具体的には、以下のような能力・資質を持った人材を求めています。

- (1) 探求心：経済学および経営学に関する知識を習得する
- (2) 社会に対する関心：自分の適性を発見して社会の多様な道に進み、それぞれの分野において将来大きな成果をあげる
- (3) 基礎学力（全般）：高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、理科、数学、外国語についての基本的な知識及び理解度を持つ
- (4) 基礎学力（特定の分野）：特定の分野で高い能力を持つ

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、総合的知識・能力をバランスよく持った人材、専門的知識・能力に特に秀でた人材、探求心や主体性が特に優れた人材などを適切に評価できるよう、国内の学生においては一般選抜と総合型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜においては、上記の求める資質・能力を、大学入学共通テストで(3)、個別学力検査で(4)を中心に評価し、判定します。
また、理科系志望も含む多様な人材を選抜するため、入学試験における評価の対象となる大学入学共通テスト科目について多様な試験科目の選択を認め、高等学校において理数系科目を重点的に学んできた人材についても個別試験への門戸を開きます。さらに、総合的な能力を持つ人材だけでなく、特定の分野で高い能力を持つ人材を選抜するため、大学入学共通テストと個別試験の総合判定において複数の科目配点方法を採用し、総合点の評価とともに、特定の科目における優秀な成績を評価に入れます。
2. 総合型選抜においては、上記の求める資質・能力を、以下の方法を中心に評価し、判定します。
大学入学共通テストで(3)、面接で(1)～(4)、調査書で(1)、(2)、その他の提出書類で(1)、(2)、(4)、英語資格で(3)・(4)を中心に評価し、判定します。

○ 理学部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーを受けて、理学部では教育目標に定める人材として相応しい、下記のような人を求めています。

- 1) 高等学校等における教育課程を修了し、もしくは同等の能力を身につけている人。
- 2) 幅広い自然科学の基礎知識と応用力に加え、広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝える力を持ち合わせた人。
- 3) 自然科学に知的好奇心を持ち、自ら強く考察して真理を探究・発信することに喜びを感じる人。
- 4) 科学の素養を背景にして、国際社会に幅広く貢献したい人。

【入学者選抜の基本方針】

上記の人材を多様な方法で選抜するため、下記の一般選抜と2種類の総合型選抜を実施します。これらの入試においては、1)の高等学校卒業相当の学力を重視しますので、大学入学共通テスト（国語、数学、英語、理科2科目、地理歴史・公民1科目）を課します。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜では、より高度な学力の習熟度・応用力を測るため、また、2)の広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝える力を持ち合わせた人を選抜するために、高度な記述式の数学、理科の個別学力検査を行います。また、4)の国際社会への貢献に必要な英語の学力を、高度な記述式の試験により評価します。

総合型選抜（研究奨励型）では、3)の自然科学に対する知的好奇心を有する人を選抜するために、高校での研究活動を重視し、書類審査で活動内容を、また面接試験で研究に対する姿勢を評価します。総合型選抜（挑戦型）では、書類審査で高校での課外活動から4)の社会貢献の意欲を評価し、さらに3)の自ら強く考察して真理を探究・発信することに喜びを感じる人を選抜するために、難易度の高い課題を課した面接を実施します。

また、特別入試（帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試、国際科学特別入試）では、日本の高等学校の枠組みを離れ、2)～4)の能力を有する人を、学力試験と面接試験によって選抜します。

【求める人材像】

医学部医学科では、地域医療に貢献する人材や、世界をリードする医師・研究者を養成することを教育目標とし、これを実現するため、以下のような資質・能力を持った学生を受け入れます。

- (1) 高度な倫理観に裏付けられた豊かな人間性を持ち、組織においてリーダーシップを発揮できる者
- (2) 医学科の教育課程を履修するに必要な高度な学力、知性および語学力を有する者
- (3) 医学の進歩に貢献するとの強い信念を持ち、それを実現する行動力を有する者
- (4) 多様な価値観を受け入れる柔軟性と知への探究心、自由で豊かな発想力を持ち、創造性を発揮できる者
- (5) 社会における自らの役割を理解し、協調性と責任感をもってそれに貢献する意欲のある者

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試を行います。

また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜では、特に(2)、(3)を重視し、大学入学共通テストで(2)を、個別学力検査で(2)を、面接において(1)、(3)、(4)、(5)に関する資質を評価し、選抜を行います。
2. 学校推薦型選抜では、特に(1)、(4)を重視し、大学入学共通テストで(2)を、面接で(1)、(3)、(4)、(5)を、小論文で(2)、(3)、(4)を、調査書で(1)、(2)、(3)、(5)を、推薦書で(1)、(2)、(3)、(5)を評価し総合的に判定します。

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、医学部保健学科では国内外の研究・実践・教育の場で、専門性と語学力を基盤としたリーダーシップを発揮し、専門領域の確固たる資格と自信を持ち、人に対して温かい目を持つ医療人を育成するために、以下のような資質を有する学生を受け入れます。

- (1) 高等学校で履修する各種の学習内容を幅広く理解している人
- (2) 医療専門職として必要な自然科学の基礎的知識・理解と論理的思考力を持つ人
- (3) 基礎的語学力を有し、国際的な視野を持つ人
- (4) 保健・医療への関心を有し、課題を解決する意欲と能力を持っている人
- (5) 基本的コミュニケーション力を有し、リーダーシップを発揮する素質を有する人

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜では、特に(1)～(3)を重視した評価を行います。すなわち、(1)に対して大学入学共通テストにて国語、地理歴史・公民、理科、数学、外国語を課す一方で、個別学力検査では理科、数学、外国語の記述式問題により(2)、(3)に関する能力を評価します。
2. 学校推薦型選抜では、特に(4)、(5)を重視した評価を行います。すなわち、(1)～(3)に対して大学入学共通テストにて国語、地理歴史・公民、理科、数学、外国語を課すことにより学力を担保し、調査書等の出願者が提出する資料等と面接試験により、(4)、(5)に対する能力と資質を重視した配点を採用します。

○ 歯学部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、歯学部では健康科学に貢献できる創造力を備え、歯学研究、歯科医療分野における次世代のリーダーを目指す意欲に満ちた、以下のような能力・資質を備えた人を受け入れます。

- (1) 他人に対する思いやりの心を有している人
- (2) 生命、医療に強い関心をもっている人
- (3) 自らの考えを論理的に伝えることができる人
- (4) 高等学校にて習得すべき基礎学力を有している人
- (5) 歯学部での学修に必要な理科、数学、外国語の各科目について十分な知識を有している人
- (6) 自立的な問題解決能力を涵養している人
- (7) 世界に目を向け、健康科学の発展に貢献しようという意欲のある人

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜では、特に(5)及び(6)を重視した評価を行います。すなわち、(4)に対して共通テストにて国語、地理歴史・公民、理科、数学、外国語を課す一方で、二次試験では理科、数学、外国語の記述式問題により(5)及び(6)に関する能力を評価します。さらに、面接試験によって(1)、(2)、(3)、(7)に関する能力を評価します。
2. 学校推薦型選抜では、特に(2)、(3)、(7)を重視した評価を行います。すなわち、(4)に対して共通テストにて国語、地理歴史・公民、理科、数学、外国語を課します。その際、(5)に対する能力を重視した配点を採用します。さらに、面接試験及び推薦書によって(1)、(2)、(3)、(6)、(7)に関する能力を評価するとともに、(3)、(7)に対しては自己推薦書による評価も併せて行います。

○ 薬学部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもと、薬学部では、学習目標に定める「高度な専門性と深い学識」、「教養」、「国際性」及び「デザイン力」を身につけることにより、医薬品の創成とその適正な使用法の確立、生活環境の安全・安心の確保等を通じて人類の健康に奉仕し、豊かな社会の発展に貢献することができる人材を育成するために、ヒトの健康・医療・福祉の課題や問題点を理解し、その解決に向けて生命科学、創薬科学、社会・環境薬学、医療・臨床薬学の基礎研究、臨床研究に打ち込み、薬学の発展に寄与する熱意と志を有する学生を求めています。そのために、高校卒業までに修得してほしい資質・能力として以下の点を挙げます。

- (1) 入学後の生命科学、創薬科学、社会・環境薬学、医療・臨床薬学等に関する「高度な専門性と深い学識」を修得するために必要な幅広い基礎学力を有する（高校での履修教科全般における基礎的な知識・技能）
- (2) ヒトの健康・医療・福祉における課題や問題点に深い関心を持ち、これらを複眼的に理解し、その解決に向けた論理的な考察ができる（思考力及び判断力）
- (3) 他者と積極的かつ協調性を持って関わり、相互理解を得ることができるコミュニケーション能力を有する（表現力）
- (4) 目的意識を持って主体的かつ積極的に修学を進め、課題解決を通して社会に貢献する意欲と使命感を有する（主体的に学習に取り組む態度）
- (5) 薬学を修学し、将来医療・臨床に携わる者にふさわしい人間性と倫理観を有する
- (6) 世界を視野に入れた異文化社会に関心を持ち、積極的な関わりを志向する意欲を有する

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

求める人材像の資質・能力を適切に評価し選抜を行うために、

1. 一般選抜においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。
大学入学共通テスト：(1)、個別学力試験：(1)(2)、面接・口頭試問：(3)(4)(5)、
小論文：(2)(4)、調査書：(1)～(6)
2. 学校推薦型選抜においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。
大学入学共通テスト：(1)、面接・口頭試問：(2)(3)(4)(5)、小論文：(2)(4)、調査書：(1)～(6)、推薦書・その他の提出書類：(1)～(6)

○ 工学部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、工学部では、人類社会の現状と将来について深い関心を持ち、その課題発見と解決に貢献しようとする意欲に溢れ、次のような資質を持つ人を求めています。

- (1) 高等学校等における各種の学習内容を幅広く理解している。
- (2) 工学の基礎学問である高等学校等における数学、理科を深く論理的に理解している。
- (3) 自分の考えを的確に伝えるための表現力を身につけている。
- (4) 広い観点から主体的に問題に取り組み、論理的に考察することができる。
- (5) 基本的なコミュニケーション力を身につけている。

【入学者選抜の基本方針】

本学部の入学試験では、上記の人材を選抜するために、一般選抜および学校推薦型選抜という全く選考方法の異なる入試により、多面的な評価尺度で多様な観点からの評価を実施します。

【具体的選抜方法と資質・能力との関係】

1. 一般選抜および学校推薦型選抜ともに、(1)については、大学入学共通テストにおける国語、地理歴史・公民、理科、数学、外国語により評価します。
2. 一般選抜においては、理科、数学、外国語を課すことで(2)を評価し、高度な記述式問題により(3)、(4)に優れた能力を有している人を選抜します。
3. 学校推薦型選抜においては、書類審査と面接試験により(2)～(5)、特に(3)～(5)を重視した選抜を行います。
4. 帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試、高等専門学校から本学部3年次への編入学試験を実施し、学力検査と面接試験の組み合わせにより、(2)～(5)の能力を評価し、多様で優れた人材を見出します。

○ 基礎工学部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、基礎工学部の理念である「科学と技術の融合による科学技術の根本的解決及びそれにより人類の真の文化を創造する」ことに共感する、次のような能力、資質を持つ人を求めています。

- (1) 基礎学力：高等学校等における各科目の学習内容を幅広く理解しており、特に、数学、理科を高度に習得している。
- (2) 思考力：科学と技術に関する基礎的な知識、技能にもとづき、問題を多角的に捉え、柔軟な発想から筋道を立てて考察できる。
- (3) 表現力：自分の考えを論理的に説明できる。
- (4) 国際性：外国語を高度に習得しており、異なる言語・文化をもつ様々な人たちと相違を超えて対話、交流できる。
- (5) 探究心：科学や技術に関する深い関心と興味を持ち、新しい分野の開拓に主体的かつ積極的に挑戦する意欲がある。
- (6) コミュニケーション力：さまざまな考えの人たちの意見にも耳を傾けて対話できる。

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試、さらに高等専門学校からの編入学試験を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

共通テストでは5教科7科目の、また、一般選抜では特に理科、数学、外国語の試験を課すことで(1)～(4)の能力を評価します。また、推薦入試では、共通テストに加えて調査書、推薦書ならびに口頭試問を実施することにより、(5)、(6)を重視した優れた学生を選抜しています。さらに、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試などの特別入試、高等専門学校から本学部3年時への編入学試験では、(1)～(6)に優れた能力を有している多様な学生を選抜しています。